

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	全教職員が多種、多様な情報を共有するとともに、協働し、生徒の指導にあたることのできる体制作りを推進する。 教職員が範を示し、一丸となって、地域から愛される工業高校としての誇りを持った教育活動を推進する。 主体的な学びにより工業の専門知識・技術・技能を身につけた上で、次世代社会の担い手となるよう、心豊かで、崇高な倫理観を備える工業人を育成する。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
PTA活動(総務部)	PTA活動をとおり、本校の教育活動の向上を図る。	PTA行事等に多くの保護者の参加を促し、学校に対する御意見・御要望を集約する。また、各種行事が魅力あるものになるよう工夫し、保護者が参加しやすい環境の構築を図る。	Webページや安心メールを積極的に活用し、情報発信に努める。
学習指導(教務部)	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、学ぶことの楽しさや達成感を体得させ、自ら学び続ける意欲や態度を養う。	年度当初において「わかる授業のための調査」を生徒に対して実施し、わかる授業の実践に心がける。	学習指導の展開や方法についての研究、研修を推進し、授業改善に努める。
生活指導(生徒指導部)	生徒の生活リズムを整える指導を継続的に実施し、遅刻の減少を図る。	複数回遅刻をする生徒に対して、早朝登校や保護者連絡などの継続的な指導を実施し、生活習慣の見直しを促す。	担任や各学科と情報を共有し、協力して指導を行うことで、遅刻を繰り返す生徒がなくなるよう、効果的な指導体制を確立し、実施する。
特別活動(生徒会部)	本校生徒の魅力や活力が、地域や中学生に伝わるようホームページでのTwitterの活用を進める。 ボランティア活動の機会を設定することで、ボランティア精神を育む。	Twitterの掲載内容について①学校行事の写真、様子、生徒の感想を紹介する。②部活動の試合結果、日々の活動などを随時更新する。 本校主催のボランティア活動においては、活動中の安全確保のため監視員の配置やグループ活動で実施する。	Twitterに画像を記載する場合は、個人情報保護の観点から、顔が特定できないような写真を選出する。 ボランティア活動においてはより多くの生徒に参加してもらえるように周知をする。
進路指導(進路指導部)	望ましい職業観・勤労観を育成し、生徒一人ひとりの進路希望に応じた進路指導の充実を図る。	各学年に応じた進路行事を通して、進路意識を高める。 学年との連携を密にし、進路に関する情報を迅速に提供し共有する。	外部講師による講話、進路ガイダンスの充実を図る。 ロイノートを活用し、生徒への進路情報の提供を行う。
保健・美化(保健部)	心身ともに健康な生徒の育成を図る。	生徒保健委員会、生徒美化委員会の年間を通して積極的な活動。 相談活動や支援を必要とする生徒への適切な対応と校内連携の実施。	生徒保健委員会、生徒美化委員会による保健活動の充実と校内の環境整備。 SC・SSWの有効的な活用。
図書館活動(図書部)	図書館の活性化	図書委員による自発的な活動を促し、生徒主体の魅力ある図書館作りを目指す。	図書委員の自由な発想を引き出し、具体的・計画的な活動に繋がるようにイメージさせる。職員及び一般生徒に対する広報活動をさせる。
工業教育に関する活動(工務部)	学科との連携を図り、進路実現や資格取得など生徒に具体的な目標を持たせる。技術顕彰やジュニアマイスターの取得者数などの向上を図るための指導体制を充実させる。	検定試験や資格の告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。 技術顕彰やジュニアマイスターについてわかりやすく案内を掲示する。	検定試験や資格の告知、掲示の仕方を工夫し、多くの生徒に周知する。資格の内容等を生徒に伝える方法を検討する。資格を取る意欲をより多くの生徒に持たせるよう取り組む。
(機械科)	基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たるとともに、安全教育を充実させた実習運営を実施する。	習熟度別授業やティームティーチング授業、補習授業などを工夫して授業展開を行う。 安全マニュアルを準備し、作業上の注意点などを理解させたくえて作業を進める。	教科担当で連携しあい、生徒の状況を全体が把握できるようにする。 安全マニュアルは学科全体で周知しあい、互いに協力しあい事故を未然に防ぐ。
(電気科)	安全教育の充実を目指して、実習室の環境の整備と新しい実習装置を活用した指導方法の確立	日常における実習室の環境整備、危険予測と安全作業の徹底。模擬送電装置の活用方法の研究と指導書の作成。	実習道具や材料の整理整頓、安全に対する生徒の意識向上を目指す。専門教科とのつながりを持たせて指導書を作成する。
(IT工学科)	IT工学の知識・技能の確実な定着を目指して指導に当たる。	学年、学科と連携を図りながら、生徒指導、学習指導に取り組む。資格取得を促し、主体的に取り組む姿勢を養う。 学科紹介、学校見学会、HPなどを通して、学科の情報を発信する。	学年、学科で連携を図り、生徒の個性に応じた指導ができるよう取り組む。 広く情報発信を心掛ける。
(エネルギーシステム科)	生徒に進路目標の指導助言を行い、生徒の目標に合わせた資格を取らせる。	学年に合わせた就職・進学の知識として、仕事の分野や具体的な就職先に必要な資格の話を。そこで取得すべき資格の種類を知識を付けさせ、取得の目標を持たせる。	多くの職員が様々な角度から経験に基づいた進路や就職、必要な資格の話を生徒にする。資格指導をできるだけ行い、生徒が有意義な高校生活を送ることができるようになる。
(エネルギー化学科)	安全教育の充実を図り、工業の基礎基本の知識技術ならびに、化学工業の基礎基本の知識技術を身につけ、工業人として社会に貢献できる人材育成を目指す。	日々の学習指導の充実や提出物指導の徹底。 実習や日々の授業を通じてより多くの教員と関わりを持たせ、多くの目と手で生徒の成長を目指し指導していく。	資格取得の指導を重点的に行い、進路指導とも関連させ幅広く指導を行っていく。
学年経営(第1学年)	規律を守り、目の前のことに一生懸命取り組むことができる真摯な態度を育成し、他人と信頼関係を築くことができるようにする。	挨拶や身だしなみに気を付けて生活できるようにあらゆる場面で声をかける。また、提出物等の期限を守るなど、約束を守れるように指導する。	担任に限らず、あらゆる場面で、挨拶や身だしなみ等の声掛けを行う。また、指導の場面を見かけたら複数人数の教員で指導を行うようにする。
学年経営(第2学年)	学習や資格取得に積極的に取り組む姿勢と、進路実現における自己理解と他者との協働を主体的に取り組む姿勢をサポートする。	各分掌と協力して生徒に情報提供を行う。修学旅行やインターンシップなどの学校行事を有意義なものになるようにする。	担任だけでなく関係分掌とも協力して、個々の生徒に合ったきめ細かい指導を行う。
学年経営(第3学年)	進路実現や資格取得に向けて、自ら積極的に学習する態度の育成と学習習慣の確立。集団生活における自己の主体性と協調性の育成を目指す。	各担任間で考えを統一し、一貫した指導を行う。その中でも主体性を損なうことなく、自身の目標達成のために努力を積み重ねることができる環境を整え、学科との連携を密にすることで、分厚いサポートを行う。	担任に限らず、すべての職員で協力して指導を行い、社会へ出る準備を整える。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、マナーなど基本的な生活習慣の確立に努める。 ・わかる授業の実践により、基礎基本の確実な定着を図る ・いじめの未然防止に関わる適切な対応を図る ・教職員の在校時間の適正化と健康保持に努める 		